

ひとりだち

きこえとことばの

支援センターだより

R6年 12月号



みみの助

ぎろうさい 岐聾祭 「きこえとことばのサークル」 交流会

こうりゅうかい

11月23日(土)岐聾祭の企画で、「きこえとことばのサークル」交流会を行いました。きこえとことばの支援センターでは、地域の園や学校に通う難聴幼児児童生徒が、岐聾祭を見たり、当校の仲間と交流したりすることで、「伝え合うこと、分かり合うこと」を共感し、更に自分に自信をもつ機会となることを願って「きこえとことばのサークル」を実施しています。

当日は、地域の園や学校、当校乳幼児教室に通う難聴幼児児童生徒15名とその家族、合わせて45名の参加がありました。

交流会には、当校の幼児児童も参加して一緒に活動しました。始めに、当校中学部を卒業し現在大学3年生の大西奎哉さんの話を聞きました。先輩の話をじっくり聞いた後には、積極的に質問する様子が見られ、自分の将来をイメージしながら聞くことができたのではないのでしょうか。その後の「もうじゅうがりゲーム」では、グループになった仲間と自己紹介をしました。初めて会う仲間と、自分の名前や通っている学校名、好きなもの等を少し恥ずかしそうでしたが、笑顔で伝え合う姿が見られました。名前を指文字で表して伝えたり、名札を見せながら伝えたり、伝わらなかった時には繰り返し伝えたりして、伝え合うこと、分かり合うことを共感していました。

普段在籍している園や学校では、周りに難聴の友達がおらず、聞こえにくさがあるのは自分一人だけのことが多いですが、今回聾学校に集まって、同じように聞こえにくさをもつ仲間と関わることを楽しむことができたようでした。保護者の方々も、普段は見ることができない他の難聴の子の様子や、我が子が他の子と関わる様子を見たり、他の保護者との情報交換をされたりしていました。

今後も、「きこえとことばのサークル」交流会を実施し、地域の園や学校に通う難聴幼児児童生徒、その家族同士が交流を行い、お互いを理解し合う場を作りたいと考えています。

参加者の感想(保護者)

- ・色んな子と関わることでよかったです。
- ・子供達の成長を見ることができてよかったです。
- ・色んな人と一緒に楽しく遊びに参加できてよかったです。
- ・普段、難聴児と関わる機会がないので、今日は交流できてよかったです。

(原文のまま)

参加者の感想（子供）

- ・楽しかった。
- ・すごく自由で、みんなのことを知ることができるのですごくいいなと思った。
- ・みんなの名前や好きなことを知ることができた。
- ・たくさんの友達ができてうれしかった。
- ・交流会に参加して、いろいろな人と自己紹介ができて楽しかった。
- ・知らない人とたくさん関わることができた。
- ・もうじゅうがりゲームができた。手話が分かって楽しかった。
- ・他の難聴の子と触れ合えてよかった。

（原文のまま）



大西さんの話を真剣に聞いています



「もうじゅうがりゲーム」では、知らない子同士グループになって、積極的に自己紹介していました



ほちょうそうだん よてい 補聴相談の予定

* ナショナル補聴器センター・・・ 1月15日（毎月第1・3水曜日）

* 理研産業・・・ 1月8日（毎月第2水曜日）

場所：本館1階 補聴相談室

時間：13時30分～相談が終わり次第終了

※イヤモールド作製、補聴器の不具合などの相談は、業者来校日の前に、担任を通じて各部の補聴相談係への連絡後、申し込み用紙の提出をお願いします。